

# 会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 22年 9月 30日(木曜日)	開催時刻	13時 30分から 15時 40分
会議名	丸子地域協議会(平成 22年度第 6回)		
出席委員	齊藤会長、北村副会長、生田委員、池内委員、上原委員、内田委員、倉沢委員、上坂委員、佐藤委員、清水委員、関委員、滝澤委員、中澤委員、成澤委員、松山委員、丸山委員、宮下委員、村松委員、山越委員 【欠席】横山委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、宮川政策企画局長、岡田政策企画課長、坪田丸子金子図書館長、中山センター次長兼地域振興課長、関尾市民生活課長、松井健康福祉課長、矢島産業観光課長、山岸建設課長補佐、小林消防課長、松村上下水道課長、下村学校教育課長、竹内社会教育課長、高野丸子学校給食センター長、近藤政策企画課長補佐、大平地域政策担当係長、翠川地域政策担当主査、馬場		
<p>会議次第</p> <p>1 開会(中山センター次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料の確認、欠席委員の報告</li> </ul> <p>2 あいさつ(齊藤会長)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いよいよ今回から、地域まちづくり方針の見直しについて、市側から正式な諮問を受け、討議に入ることとなる。しっかりと論議をして、この地域協議会の中からまちづくりの基本的な方針を決めていきたいと考えています。御討議のほどよろしく申し上げます。</p> </div> <p>3 議題</p> <p>(1) 第1次上田市総合計画・地域まちづくり方針の見直しについて(政策企画課)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、後期基本計画(平成 24~ 27年度まで)の策定に向け、市民の代表者 60名で構成する総合計画審議会を設け、10月 12日から審議が開始される事となる。</li> <li>・この地域協議会からも審議会に参画いただき、検討を進めたいと考えている。</li> <li>・地域まちづくり方針についても、後期基本計画の策定にあわせてこの地域に必要な事項を加えるかどうか、または変更するものがあるかどうか、地域で議論いただき答申を賜りたい。</li> <li>・地域協議会の位置づけとして、所管地域の重要事項の決定または変更にあたっては、地域協議会の意見を市長は聞かなければならないと定められている。地域の大方針である地域まちづくり方針の見直し検討について、本日は市長から諮問をさせていただき、具体的な御協議をお願いしたい。</li> <li>・市長(代理：宮川政策企画局長)から齊藤会長に諮問書提出</li> <li>・「第1次上田市総合計画地域まちづくり方針の見直しの検討について」答申を平成 23年 3月までをお願いしたい。</li> <li>・「地域まちづくり方針」の見直しの検討について、資料により詳細説明。</li> </ul> <p>資料 1: 第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」の見直しの検討について 資料 2: 『新生「上田市」建設計画』から「第一次上田市総合計画」への流れについて</p> </div> <p>主な質疑・意見の内容</p>			

(委員) 評価シートの空欄部分は、市側から示されるというように理解してよいか。  
(政策企画課) そのとおりです。

#### 4 報告

##### (1) 丸子図書館建設概要案について(社会教育課)

- ・丸子図書館建設概要案について、資料に基づき事業経過、整備方針、今後の事業スケジュール、基本設計の概要について詳細説明。
- ・丸子図書館の位置づけとしては、上田市の中の地域図書館の一つとなる。中央に上田図書館があり、その他に地域図書館がある形態で、建物面積等の制約を受ける部分がある。
- ・敷地は旧丸子町時代に計画した面積より 300坪ほど増えている。建物面積は丸子金子図書館の約 3 倍の面積になる。建物は平屋で、段差が無く子供も使いやすいというコンセプトで、現在基本設計を行っている。
- ・解体工事含め 4 年間で計画を終了予定。総工費については、総額 10 億円くらいを上限として予定している。
- ・資料 1- 1 ページ、外面図。手前に中央病院、道を隔て依田川に平行して図書館が建つ。55m ほどの横長で、道路側が一番高く、川側の方に傾斜をした建物になる。屋根の上にはソーラー、前面の屋外通路はベンチや植栽などをした交流の場。
- ・2 ページ、平面図のコンセプトは、エントランスホールを交流の場として位置づけ、広いスペースをとっている。エントランスを入ると、丸子が製糸のまちであったことやカネポウ跡地への建設ということで、繭をイメージした区画も計画している。
- ・駐車場は、丸子図書館横、水辺公園、給食センター裏あわせて 100 台を超える駐車場を確保している。

##### (図書館長)

- ・移動図書館車については、合併以後に大型の車両となり、約 3500 冊を積んで丸子・武石地域を巡回している。近隣 5 市町村の公共図書館は、エコーネットネットワークで結ばれており、カードを作ると情報ライブラリーや東御市等の図書館でも利用可。またそれらの広域の図書館から取り寄せて借りることができ、どこからでも返却できるという大変便利な仕組みになっている。
- ・新図書館は、武石や塩田地域からも来ていただき、依田窪の中心的な図書館にしていきたい。
- ・真田地域については、真田地域自治センターの 2 階と繋げた図書館がほぼ完成。11 月 19 日の開館に向けて、現在ボランティアさんの助けも借りながら引っ越し準備中。
- ・新図書館は大変広くなり、職員だけでは管理等が難しい部分もある。現在、読み聞かせはボランティアの方々に活躍いただいているが、そのほかにも地域図書館としての環境整備や修繕等、御協力いただけそうな方はボランティアとして御活躍いただきたい。
- ・新図書館は、図面左側の半分以上が本を手にとって見られる開架スペースとなる。蔵書は 6 万冊を想定しており、大勢の皆さんに利用していただける図書館を目指している。

資料：丸子図書館建設概要案について 資料 1：基本設計の概要(A案)

##### 主な質疑・意見の内容

(委員) 指定管理者は置かず、市の直営で管理していくという考え方なのか。

(図書館長) 現在の丸子金子図書館については市の直営で、一部の業務を地域振興事業団

に委託している。新築される丸子図書館も市の直営で運営していきたいと考えている。細かい部分については、真田でもボランティアさんを募っているが、上田や情報ライブラリー同様に皆さんのお力を借りて良い図書館にしていければと思っている。

(委員)図書館建設運営研究会で検討が重ねられているということだが、市民への公表はどのようにされているのか。蔵書のうち新規購入の予定数はどれくらいか。また、開架と閉架についての基準はあるのか。開架と閉架の比率等に基準的なものがあるのか。

(社会教育課長)丸子の図書館建設運営研究会は昨年立ち上げ、丸子地域自治センターだよりの中でも地域住民の皆様に周知している。また、広報うえだ等でも折に触れて記事を掲載していきたい。

(図書館長)大勢の人に読まれそうな本は開架、古くなった本等は閉架書庫に入れる。毎年本を購入しているので、それらの新しい本は開架、それと同じ数だけ閉架、さらに時代遅れや他の図書館にあるようなものも閉架書庫へ入れる。話題本も何冊か購入するが、将来的にずっと名作で残るかはわからない。将来的に好評でなくなり他の図書館で持っているということであれば、いったん閉架書庫に入れ、その後リサイクルにまわすようなこともあり得る。また、新規では約2万冊程度を購入したいと考えている。

図書館建設運営研究会については、丸子図書館ホームページに丸子図書館建設に関するページがあり、そこで開催状況等見られるようになっており、一般の皆さんに広く御理解いただきたいと思っている。

(委員)図書館へのアクセスについて、駐車場がたくさんあるのは便利だが、公共交通機関の利用者への対策を検討いただきたい。現在「まりんこ号」が走っているので、図書館近くにバス停を作り、図書館目的以外の人も利用できるようにしていただきたい。

(社会教育課長)カネボウ跡地にできる丸子図書館は中央小からも北小からも歩いて通える範囲となり、子供さんの利用は増えると思う。また、研修室は学習室として使うことも想定し、使いやすいように考えている。子供さんの受験シーズンや試験の前の利用も相当数あるだろうと想定している。公共交通機関については、是非バスをまわしていただきたいという話が武石地域協議会でも出た。それとあわせて、丸子でも検討していこうと思っている。

(丸子建設課)「まりんこ号」のルートと駐車場所については、今後周囲の土地利用の変化なども確認しながら検討していきたい。

(委員)上田市全体の古文書などの保管場所やその方法、丸子地域全体の古文書を含めた書籍の保管法などについての考え方をお聞かせいただきたい。

(図書館長)古文書については、主として市立博物館で扱っている。花月文庫などのように本になったもの、本ではないが昔に手で書き写したもの、特に地域のものについては図書館で集めるようにしている。しかしながら、図書館職員が読めないのでタイトルしかわからないものもあり、「やまなみの会」の皆さんや博物館職員に読んでもらわないと中身がわからないのが実情。是非皆さんに社会教育として勉強していただきたい。また、文書管理としては、以前から行政文書は保管しなければならないという話があり、それぞれの役場で保管している。旧上田市については、博物館と図書館とに分かれ、旧上田の役場文書が残っている部分とそうでない地域とがある。これについても、本来なら文書管理的な機能を持っていないといけないと思うが、これもやはり管理する人が必要。ただとっておくことは図書館でも旧役場でできるが、それを上手く整理して上田市全体の状況がわかるようにしておくには、整理する人が必要でなかなか簡単にはできない。現在の行政文書も

将来的には歴史的に必要な文書になる。選別して必要なものはとっておきたいが、なかなか人手が回らず、難しい状況にある。

(社会教育課長)歴史的価値のあるものをどのように保管するかについては、場所や予算が制約される中ではあるが、何とか残す努力をしていきたい。

(委員)図書館内で、学生が常時学習できるスペースを確保できないか。

(図書館長)本来は、自分の持っている本や参考書では物足りないということで、図書館に来て図書館の本を参考にして勉強するものである。そのための学習室であり、受験勉強用の勉強部屋とは違う場所である。計画している研修室は、社会教育団体の方が使われる日は、学生さんは使えなくなるという事は、申し訳ないがあり得るケースである。上田図書館については、ほぼ毎日団体が使っており、なかなか会議室を空けることはできない。それでも会議をやっていない時で学生さんの試験が近い時等には勉強していただいている。それと同様に、空いている時に使っていただくとしか答えられない。図書館の趣旨からは外れるが、慣例上どこの図書館も学生さんの勉強部屋として使われているということを御理解いただきたい。

(社会教育課長)図面上、研修室を点線で仕切っているが、これは、大きな部屋を多目的に分け、できる限り皆さんの要望に沿いたいと考えている部分である。

(委員)人との交流が趣旨になるということで大変期待しているが、イベント的なこと等、検討されていることがあればお聞きしたい。

(図書館長)図書館には交流し社会教育性を育むという側面もあり、そのための展示やコンサートの的なものができる広いスペースをとってある。可能であれば喫茶的なものも入れたいと考えている。

(社会教育課長)交流スペースは、図面上は狭く見えるが、かなり広い部分をとってある。

(委員)たくさんの人に利用してもらえるように、いろいろなイベントを計画してもらいたい。

(委員)幼児コーナーの授乳室の様子を教えてください。

(社会教育課長)授乳の場所は仕切りを設け、お母さん方が安心して授乳できるよう考えたい。仕切りは、上まで仕切って囲ってしまうのではなく、できるだけ姿が見えるというような形で考えている。

(図書館長)カーテンで囲っている小布施の図書館のように、普段は取り払われていて、必要に応じて仕切るという方向で考えていきたい。

(委員)給湯設備等はどこに作る予定か。

(社会教育課長)確定している場所はない。例えば、図面中の事務室や研修室付近に給湯室をつくるなど、今後つめていきたい。

## 5 その他

### (1)総合計画審議会委員の選任について(事務局)

第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」の見直しについて、市長の諮問機関として組織する総合計画審議会の委員に、丸子地域協議会から成澤啓輔委員が選任された。

### (2)次回会議の開催日について(事務局)

・第7回丸子地域協議会 平成22年10月28日(木曜日)13時30分から  
丸子地域自治センター4階 講堂

(3)その他

(ア)分散会の協議内容について（各分散会長から前回の分散会での意見等の報告）

第1分散会（関委員）

- ・丸子ドドンコの活性化について。（反省会が非常に遅い、来年へ向けての会議が無い等）
- ・丸子地域の持寄金について、具体的な金額や利用方法を聞きたい。
- ・地域予算は使用期間が決まっているため、具体的に何に使うか早期検討を進めるべき。
- ・建設ばかりでなく、壊すことに使うといった視点も必要ではないか。

第2分散会（宮下委員）

- ・丸子ドドンコの活性化や丸子地域の持寄金の使途について。（第1分散会同様意見）
- ・若者の意見も取り入れてほしい。
- ・外の団体との意見交換も必要ではないか。
- ・魅力アップ応援事業の事業採択方法などについて。

(イ)「上田市の自治の基本原則等を定める条例」について（生田委員、丸山委員）

- ・中間報告から最終報告への変更箇所について資料に基づき説明。
- ・自治基本条例の「上田らしさ」ということで、タウンミーティングで出された「住民投票」「地域コミュニティ」「地域内分権」「外国籍の人々との交流と共生」という意見を参考に、中間報告で足りなかった所や皆さんの強い要望等を加えた。
- ・地域協議会という名称は入っていないが、地域の問題は地域住民が主体となり進めていく中で、地域協議会の重要性というものをこれから地域住民も考えなければならない。
- ・現在、市側で条文化を進めている段階であり、このまま条例になるというわけではない。
- ・最終報告は今回の議会にあげられ、その議会からの意見を取り入れた形で年末の議会で採決となる予定である。
- ・丸子の地域内分権を進めていくうえで、丸子選出の市議会議員さんの考えも伺いたい。

資料2:「上田市の自治の基本原則等を定める条例」骨子案対比表（中間報告に対する変更点）

主な質疑・意見の内容

（委員）中間報告から最終報告に至るまでに感じたことは、「地域内分権」に対する考え方について、旧上田市の検討委員会の皆さんと我々とは、意識がかけ離れていると感じた。今後、条文化される中で、地域の代表の市議会議員さんらと色々意見を交換することはいいことだと思う。

（委員）合併したのになぜ丸子地域にこだわるのかという意見も多々あるようだが、「地域内分権」は丸子のエゴや主張ではなく、上田市民として丸子の歴史ある地域の特性を活かしてまちづくりをしていく。それが、上田をつくっていく一つだと考えている。

（委員）この条例により、行政・市民・議員との間で摩擦が起こる事も考えられるのではないか。この条例がうまく運用されていくことを願う。

（委員）住民投票を奨励しているわけではなく、そこへ至るプロセスを重要視している。例えば、6分の1という住民投票に至る前に情報公開をして市民説明をする。市民同士の話し合いの場を設ける。住民投票に至らないようなるべく話し合いで解決していくことが重要ではないかという観点で作った。また、丸子地域協議会の中で「地域内分権」のあり方を話し合い、市長に意見する方向へ進められればと思っているがどうか。

(委員)市側で条文化される最終的な条例については、検討委員会の委員は確認したり、意見を述べたりする機会はあるのか。

(委員)条例検討委員会は、最終案を決定し市へ提出した後に解散したので、意見などを申し上げる機会はない。

(委員)すばらしい条例だと感じている。同時に住民側の意識改革も必要だと思う。

(委員)地域内分権については、これからの地域協議会でも審議してもらいたい。地域内分権にはいろいろな意見がある。地域エゴの主張ではなく、それぞれ特色ある地域を盛り上げるという事を大切に、それが上田市全体を盛り上げる事につながるという事を丸子地域が主導していく役割があると考えている。

#### (ウ)防犯灯 LED化専門部会の進捗等について報告(佐藤委員)

・引続き市側で回答作成に向け協議を進めてもらっている状況である。詳細は市側から状況報告をお願いしたい。

・この件で地域予算を使うことは、丸子地域自治センターとしても賛成していただいていると理解しているが、その件についても確認したい。

#### 主な質疑・意見の内容

(市民生活課長)回答が遅れていることについて、お詫びしたい。現在は最終回答に向け、事務を進めている状況である。決裁処理が出来次第、回答となる。

(地域振興課)最終回答には、必要となる予算の事も盛り込まれることとなると思うので、最終回答で確認をお願いしたい。

#### (I)旧カネボウ食堂棟活用専門部会の進捗等について報告(村松委員)

・8月に郵送等でアンケート調査を実施した。照会数は232。現在は回答の集約段階で、回答数は90で約4割の回答があった。

・内容は多様であるが、体育施設利用団体からの利用希望が目立つ。ほかには、改修をしないという両極端な意見が見受けられる。

・9月27日に専門部会を開催し、アンケート結果を確認した。

・耐震補強に関しては、市側から調査費として数百万円かかりそうだという事や、補強工事を行うとなると、さらに大きな金額がかかる旨の説明があった。

・10月18日に再度専門部会を開催し、協議を進めて方向性を出す予定である。

・遅くとも12月の協議会には部会の結論を報告したいと考えている。

#### (オ)依田川リバーフロント実行委員会の進捗等について報告(成沢委員)

・依田川、内村川の合流点整備に関する部会を設けて、整備構想案の検討を進めている。

・旧カネボウ食堂棟専門部会と同じく、8月に郵送等でアンケート調査を実施し、現在は回答の集約段階である。

・遅くとも年内に合流点整備構想について、協議会に報告したいと考えている。

6 閉会 15:40

地域協議会終了後、分散会を開催(第3・4会議室)